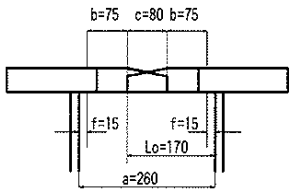
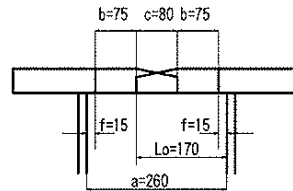
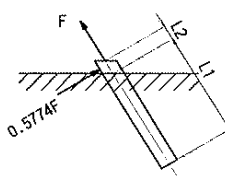
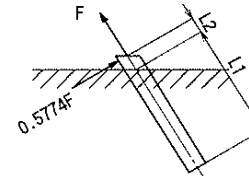
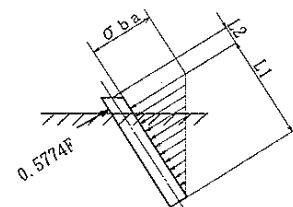
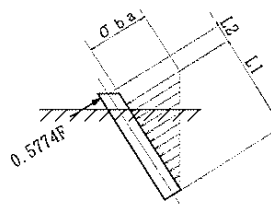


「鋼橋伸縮装置設計の手引き(平成17年4月)」の訂正について ⇒ 平成21年9月発行の第2版で誤記を修正しております。

「鋼橋伸縮装置設計の手引き(平成17年4月)」を先に発行致しましたが、本書の内容につきまして、語句等の誤りあるいは不適切な表現がありましたので、下記の通り訂正させていただきます。皆様にはご迷惑をおかけ致しますが、お詫び致しますとともに、訂正方よろしくお願い申し上げます。

技術委員会 設計小委員会 構造技術部会 耐久性向上W/G

訂正箇所	誤	正
2頁21行目	…伸縮装置を保護する場合には、地震時設計伸縮量以上の…	…伸縮装置を保護する場合には、地震時設計伸縮量の…
4頁4行目	…必要な伸縮装置の水平力を確保する場合、…	…必要な伸縮装置の水平耐力を確保する場合、…
4頁5行目	…伸縮装置を保護する場合には、地震時設計伸縮量以上の伸縮量を…	…伸縮装置を保護する場合には、地震時設計伸縮量を…
5頁下から17行目	設置する道路の性格、形式、…	設置する橋梁の規格、形式、…
5頁下から7行目	伸縮装置継手部の分類および…	伸縮装置の分類および…
21頁3行目	$Qa = 1.72 \cdot d \cdot L \cdot \sqrt{\sigma_a}$ (N) ($L/d > 5.5$)	$Qa = 1.72 \cdot d \cdot L \cdot \sqrt{\sigma_a}$ (N) ($L/d < 5.5$)
42頁7行目	…十分注意する必要がある反力分散型のゴム支承…	…十分注意する必要がある。反力分散型のゴム支承…
81頁下から4行目	… = 207.2 > 190mm	… = 207.2 > 150mm
81頁		 櫛の根元位置を修正
84頁6行目	なお、アンカーバーは…	なお、アンカープレートは…
86頁		 力の作用位置を修正
87頁		 力の作用位置を修正
88頁11行目～	$R3 = 0.4714 \times \tau_a \times S1 - 46.188 \times Fa \dots = -17,661,920$	$R3 = 47.14 \times \tau_a \times S1 - 46.188 \times Fa \dots = -17,663,518$
88頁下から1行目	d = 203.2mm → 210.0mm	d = 203.0mm → 210.0mm